

パートナーイベント

第47回湯布院映画祭

会 期：2022年8月25日（木）～28日（日）

会 場：ゆふいんラックホール

主 催：湯布院映画祭実行委員会

後 援：由布市／由布市商工会／大分合同新聞社／NHK大分放送局／OBS大分放送／TOSテレビ大分等

対 象：全国の映画ファン

公式サイトURL：<http://www.oct-net.ne.jp/yufuin-c/>

総来場者数（参加数）：延べ2,200人

内訳：（国内入場者数（参加数）：延べ2,200人 海外入場者数（参加数）：0人）

■開催内容

第47回湯布院映画祭は、一昨年コロナ禍で実現しなかった、日本映画界の名女優である、原田美枝子の特集を企画した。高校生の時に『恋は緑の風の中』で鮮烈なデビューを果たし、その後『大地の子守歌』や『青春の殺人者』などで若手の演技派として注目され、10代でキネマ旬報主演女優賞を受賞、さらに高まる映画への情熱からプロデューサー・脚本・主演をつとめた『ミスター・ミセス・ミス・ロンリー』を発表するなど、その活躍は女優だけに留まらない。その後も『乱』や『愛を乞うひと』等に出演し、彼女の出演作がそのまま日本映画界の歴史と言っても過言でない、その女優人生を検証し、役に憑依すると言われる彼女の演技の本質が関係者の証言と共に明らかになった。さらに、増村保造、長谷川和彦、神代辰巳、工藤栄一、深作欣二、黒澤明、平山秀幸などの名匠、巨匠のもとで演技力を培い、勝新太郎や萩原健一、松田優作との出会いで女優としての覚悟を決めるまでに至った経緯について詳細な話が聞けた。また、彼女が主役として活躍した70年代から90年代と現在とでは何が変わり、何が変わっていないのか、今後の日本映画の在り方についても厳しく鋭い発言があった。

■2022年度の新規取り組みとその成果・特色など

由布市湯布院町庁舎建て替えにより、新庁舎で2回目の湯布院映画祭を開催することになるが、新しい市民のコミュニティーの場に湯布院映画祭がいかに受け入れられるか、試金石の年となるとともに今後の湯布院映画祭の動向を左右する、という事を意識し、地元の人達との協働を念頭に運営を進め、映画ファンだけではなく、地元の人を巻き込むようなプログラムやゲストの人選を考慮した。上記を念頭に置いて、パーティーを含めて通常開催した結果、参加者やゲストを含め、湯布院町内からも歓迎された。

